

完成した避難マニュアル（一部抜粋）

趣旨

自然災害の発生のおそれが生じた時は、栗沢地区防災マップ及び本マニュアルに沿って対応し、地区内から人身災害を出さない事を理念とする。

住民個々の異常時の点検確認及び連絡体制

- ・ 自然災害の発生が生じた時は、各自、身近に注意しながら点検確認をする。
- ・ 点検確認の結果、マップに記載してある前触れ現象等を確認したら、直ちに区長に連絡すると同時に、隣近所に声をかける。尚、緊急を要すると思われるときは自主避難する。

災害本部長（区長）の対応

- ・ 災害の前触れ現象の情報が一つでも寄せられたら、注意と待機を要請する
- ・ 災害の前触れ現象の情報が三つ寄せられたら、住民に対して自主避難の手配をする。

住民の対応

- ・ 自主避難要請が発令されたら、隣近所に声を掛け合いながら直ちに指定の場所に避難する。

避難訓練

- ・ 防災マップ及び本マニュアルに添った避難訓練を毎年学校の夏休み期間中に実施。

みなかみ町栗沢地区での取り組み

土砂災害警戒区域図の提示

受け入れることのできない現実

行政に対する対策要求と対応できない現実への失望

避難の必要性の再認識と行政への避難情報要求

情報すらまともに得ることができない現実の認識と失望

土砂災害危険地域に暮らす葛藤と条件の模索

100%の安全が確保できない現実の直視

地域が600年続いてきた事実の提示

この地域に住み続ける条件を見いだす

出来得る限りの最善を尽くす姿勢の醸成とその支援

災害文化の醸成と具体的戦略へのアドバイス

孫子の代までの安全を担保する災害文化への認識形成